

会報



再処理企業協議会

さいくる



クリスタル シンフォニー 51,044トン (青森港)



2015年7月 第4号

2015年(平成27年)7月10日発行

発行：再処理企業協議会

発行責任者：事務局長 北上 孝寿

〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字
弥栄平1-5 再処理企業センター

TEL(0175)71-2487

FAX(0175)71-2488

URL <https://www.saisyori-kigyokyoikai.jp/>

会長挨拶



再処理企業協議会 会長
(株)東芝
六ヶ所作業所

所長 吉本 篤史

皆さんお疲れ様です。毎日の作業、御苦労様です。

本年度より新役員体制の下、新会長として本協議会をリードして行きたいと思っておりますので、宜しく御協力の程お願い致します。お蔭様で本協議会も2年半が経ち、皆さんの御尽力と御協力によって着実に発展することができ、改めて感謝を申し上げたいと思っております。

さて、本年は原発再稼働元年に当たり、順調に行くと川内原発1号機が今夏に再稼働の予定です。本再処理工場も早期竣工の日が待たれるところです。現在、新規制基準対応を原燃殿も御苦労しながら一生懸命やっておられますけれども、認可後は現在の設備点検をメインに実施しているモードとはかなり違ったモードに入ります。新規制基準対応工事、竣工前の確認試験、800トン処理の為の設備改善工事、トラブル発生時の対応や800トン処理を維持しながらの設備保全、さらに新增設建屋建設といった、かなりのパワーと技術力が要求されるモードになり、従来 of 体制・枠組みでこれらを乗り切るのにはかなりの困難が予想されます。これらを乗り切る為、原燃殿は地元企業各社への期待度が高く、その育成に向けて本協議会に期待が寄せられています。

この期待に応えるためには、以下3点を本協議会の重点課題として取り組んでいきたいと思っております。

(1) 再処理工場の仕事に密着した教育プログラムの確立・推進

村内の協議会との共存共栄を図りながら、再処理工場の仕事に密着した教育プログラムを確立し推進します。

(2) リソースの効率的・効果的活用

現在、本協議会は特別会員40社、普通会員37社で運営されており、本協議会の活動主体は技術研修部会と広報部会です。上記の教育プログラムを推進するためには一部の会社に負担が集中することが無いように優秀な人材を有する各社平等に積極的参加をお願いするものです。また、各種教育施設・機関の効果的活用を実施していきます。

(3) 会員各社の共栄

本課題が一番の難関と考えています。それは地元企業の会員とは言え上記教育プログラムの中で競合相手にもなりうる会社を育成することによる将来の仕事への影響に関して、しっかりした展望を持って育成にあたるという事です。ここで本協議会が極楽になるか地獄になるかのヒントが仏教の教えにあります。

我々は“地獄と極楽は全然違う世界”と思いがちですが、実際「そこに有るものは一緒」で、違いは「人の心だけ」だそうです。ぐつぐつと煮えたぎる釜の中の「うどん」を、長さ1mほどの箸で食べる。地獄は、長い箸で「うどん」を食べようとしても食べる事ができず、我先に食べようとするがお互いに争いになって、結局は誰も食べられず死んで行く。極楽は長い箸で「うどん」を掴んだら、その「うどん」をお釜の向こうの側の人に食べさせてあげる。そうすると、相手の方も“有難う、次はあなたの番です”と長い箸で食べさせてくれる。

皆さん、世界一安全な核燃料サイクルの実現という共通の将来展望を持って、今まで以上に本協議会に積極的に参加して頂いて、コミュニケーションの良い組織にしていきたいと思っておりますので、是非協力のほどお願い致します。

以上

副会長挨拶



再処理企業協議会 副会長
日立GEニュークリア・エナジー（株）
六ヶ所現地事務所
所長 中六角 浩光

緑がひととき濃くなり、夏が待ち遠しい今日この頃ですが、再処理企業協議会会員企業の皆様におかれましては、ますますのご隆昌のこととお喜び申し上げます。

この度、4月16日に開催された再処理企業協議会、第4回特別会員総会において、再処理企業協議会副会長に任命されました日立GEニュークリア・エナジー(株)の中六角と申します。よろしく申し上げます。

4月1日付で前任理事を引き継いだばかりで、再処理企業協議会について勉強中でありましたが、副会長という大役をおおせつかることになり身が引き締まる思いです。

さて、再処理企業協議会とはどのようなものか、皆様はご理解されているでしょうか。再処理企業協議会会員の方はもちろんご存知の事ですが、これまで私も本会の存在は承知しているものの、具体的にどのような活動をしているのか実際に携わるまで、詳しい事はわかっておりませんでした。

これまでも現任の方々から紹介されており、繰り返しになるかと思いますが、本会の活動内容について、簡単に紹介させていただきます。そして本会報を見た方が少しでも興味を持っていただければと思います。

「再処理企業協議会」は日本原燃(株)殿内、再処理施設及び廃棄物管理施設構内で作業をする会員企業の健全な発展に寄与することを目的に2012年11月に設立されました。

運営体制は会長を初めとする9名の役員の下、技術研修部会、広報部会、そして事務局から成り立っており、会員企業数は特別会員企業40社、普通会员企業37社となっております。

活動内容は「技術研修部会」と「広報部会」の2つが主な活動部会となっております。

「技術研修部会」では入所教育を初めとして、技術専門的な勉強会や各種必修技能の講習会、作業責任者向けのスキルアップ教育など多様にわたっております。

一方「広報部会」の活動は、本会報発行やポータルサイトの情報更新、各親睦会の計画実行等、各企業間のコミュニケーションの充実を図っております。

会員の方には事務局より各案内をメール配信しておりますが、皆様も機会があれば是非本会のポータルサイトを御覧になっていただき、スキルアップを図ってみてはいかがでしょうか。

話は変わりますが、原子力の関連業務に携わる我々にとって、現在の原子力情勢は大変厳しい状況にあります。ここ再処理工場も例外ではありません。先般、日本原燃(株)殿のプレスリリースにもありましたが現在新規基準の状況は、国の原子力規制庁との審査会合等の対応に日々ご苦労されていることは皆様もご承知のことかと思えます。

しかしながら、暗い話題だけではありません。最近の報道でもありましたが川内原子力発電所を皮切りに、高浜、伊方とそれぞれの原子力発電所が安全審査合格ということで、再稼動に向けて着実に進んでおり、一步一步前進していると感じるようになりました。

現在我々の目標は、日本原燃(株)殿に協力して無事竣工を迎えることです。そのためには必修業務の要である設備点検を始めとした各作業を無事故無災害で乗り切らなければなりません。

再処理企業協議会会員企業の皆様におかれましては、それらの目標を達成するための手段の一つとしてこの再処理企業協議会の趣旨を理解していただき、積極的な参加を広めていただければと願う次第です。

本年度の再処理企業協議会の活動方針として、これまで以上に皆様の意見を取り入れ、再処理企業協議会のより良い運営及び会員企業の皆様にとって有意義な会になれるよう(株)東芝殿の吉本新会長の下、運営役員の一員として努力していく所存です。

最後に再処理工場働く皆様のご健勝を祈念いたしまして、私の就任挨拶とさせていただきます。

以上

見学会

平成27年5月28日、再処理工場の見学会が実施され、34名の参加者がありました。

視察では返還高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター、再処理施設中央制御室や使用済み燃料受入れ・貯蔵建屋を見学し、構造・概要を学ぶ事が出来ました。



5月28日に企業協議会による施設見学会に参加させていただきました。

中央制御室、使用済み燃料施設、返還高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センターを見学することにより各施設の管理体制及び重要性を改めて知ることができました。

また、使用済み核燃料を管理及び処理していく上でも、再処理工場竣工の必要性を再認識することができました。

見学会では、親切丁寧で現場ならではの説明もありました。興味のある方、機会があれば是非参加してみたいでしょうか。

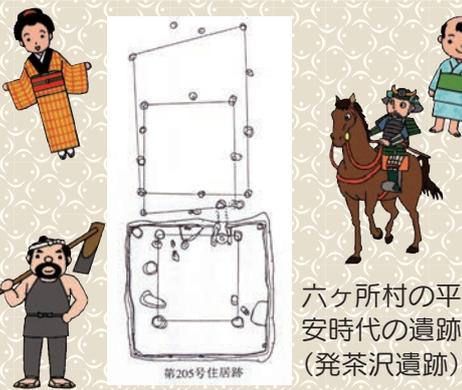
六ヶ所再処理メンテナンスサービス(株)
下北 英弘



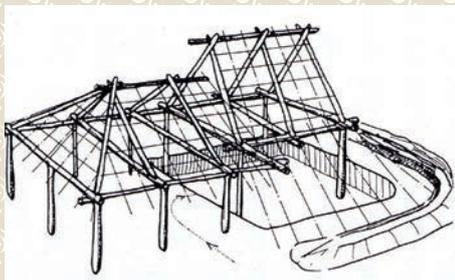
私は再処理施設の見学は今回で三回目になります。一回目は高校在学時、二回目は大学在学時と学生という身分で見学していましたが、今回はここで働く一社会人として参加することでまた違った角度から見る事ができました。中央制御室や使用済み燃料受入れ貯蔵施設、返還高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センターを詳しく説明して頂き、より一層知識を深めることができました。

現在、一般の見学は制限している中で大変貴重な経験をさせていただきました。今回感じたことを忘れずに仕事に従事していきたいです。

(株)クリハラント
野里 昌弘



六ヶ所村の平安時代の遺跡
(発茶沢遺跡)



『尾駁の牧』の住居跡想定図



『尾駁の牧』の住居跡想定

次回は、その中央貴人の思惑についてお話して見たい。乞う、ご期待…。

古代、平安時代の六ヶ所村の大規模集落は、「青森県史」にもあるように、9世紀後葉から10世紀初頭にかけて成立し、11世紀まで続いたとされる。30年間、この地を発掘してきた北林八州晴先生(日本考古学)によれば、古代の六ヶ所村の特徴は「奈良時代の人々の痕跡が全く無い」ということだと、常々、よく話されていた。では、一体、その平安時代の人たちはどこからやって来たのだろうか? 「六ヶ所村歴史フォーラム2012」において、東海大学・松本建速先生(日本考古学)によれば、それは、古代日本国中央(信州・関東地方)における「馬飼」を生業とした人々の末裔、即ち、秋田の米代川流域からの移住ではないかと推測している。

青森県において、六ヶ所村地方が「尾駁の牧」として、公に定説として捉えられていない一つの理由は、古代の六ヶ所村の人々の生業が本当に馬飼であったのだろうか? ということであろう。確かに、戦前戦後まで、当地方は馬産地として名高い。馬飼の風土は整っている。そこで考えられる一つの証拠が、尾駁沼と鷹架沼の間に発掘された「発茶沢遺跡」の竪穴式住居に付随する掘立柱建物跡である。この二間に四間四方の掘立柱建物跡が「厩(うまや)」。だと考えられるのである。当然の事ながら、この建物跡は、冬の間、馬がエサを求めることのできない時期に過ごす建物であり、雪深い出羽地方か津軽の山間部にしか発掘されていない。また、この竪穴式住居の力マドは、信州地方と同じ石組み作りなのである。そして、その数の少なさから、特別な馬を飼うためのものであり、千年前も現在と同じ厳しい気候条件だったとされる環境の中、わざわざこの地に移住してくる背景には、中央貴人の思惑があったのではないかと考えられるのである。

六ヶ所村「尾駁の牧」歴史研究会 会長 相内 知昭



「ミステリアスな歴史・古代の六ヶ所村」(第二回)

第2回 ダーツ大会

6月15日(月)～6月18日(木)の4日間に亘り、×15及び×11の2会場で、39チーム、117名の方が参加され、「各社対抗ダーツ大会」が盛大に開催されました。

結果、団体の部では山九プラントテクノ(株)「999スリーナイン」が、個人の部ではニチアス(株)高橋和美殿が優勝しました。

再処理企業協議会

第2回各社対抗ダーツ大会結果

団体の部

個人の部

| 順位 | 会社名 | チーム名 | 得点 |
|-----|-------------------|--------------|------|
| 1位 | 山九プラントテクノ(株) | 999スリーナイン | 503点 |
| 2位 | 日本建設工業(株) | まさるまりこズ | 495点 |
| 3位 | 東京パワーテクノロジー(株) | TPT | 482点 |
| 4位 | 東京防災設備(株) | ジャスコ2 | 461点 |
| 5位 | 三和テクノサービス(株) | チーム シーサー | 455点 |
| 10位 | (株)木内計測 | ミドリ KIUCHI B | 422点 |
| | 六ヶ所エンジニアリング(株) | チーム運転 | |
| 20位 | 新日本空調(株) | SNK | 387点 |
| 30位 | 株式会社日立パワーソリューションズ | 日立パワースリーハンド | 323点 |
| BB | 新菱冷熱工業(株) | 幸工業さいわいこうぎょう | 268点 |
| BM | 六興電気(株) | 六甲嵐 | 263点 |

| 順位 | 氏名 | 会社名 | 得点 |
|--------|-------|--------------|------|
| 1位 | 高橋和美 | ニチアス(株) | 226点 |
| 2位 | 榊 京介 | 三和テクノサービス(株) | 225点 |
| 3位 | 須藤 浩嗣 | 日本建設工業(株) | 216点 |
| ハイスコア賞 | 須藤 浩嗣 | 日本建設工業(株) | 126点 |



アクアリウム

株式会社ジェイテック 設備運転部 山本 文紀

MOGKの小田部長からバトン戴いたジェイテック設備運転部の山本文紀です。

私の趣味の三本柱はアクアリウムと観葉植物栽培（ここ数年は多肉植物とエアプランツと苔に夢中）とDIYなのですが、中でも約30年のキャリアを誇るアクアリウムについて紹介します。

“アクアリウム”などと洒落た表現をしましたが、要は水生生物の飼育・繁殖および水草育成とその景観を愉しむものの総称です。（お魚飼育の拡大版）

以前は40本弱の水槽を稼働させ、この辺のホームセンターの熱帯魚コーナーより質・量ともに充実し水族館状態でした。東日本大震災の停電により壊滅的な打撃を受け、すっかり心が折れてしまい5～6本まで規模を縮小しましたが、現在は15本程の水槽を稼働させています。

DIYの趣味と併せ、水槽台はもちろんのこと、市販規格外のガラス水槽まで自作しています。

現在は水草や流木を用いての水景レイアウト（水槽の中に庭園、盆栽を作るイメージ）を中心に淡水エビ（ビーシュリンプ：5～600匹程度）その他魚類の飼育・繁殖を愉しんでいます。

この手の趣味は密かに楽しむ方が多いので交流が少なく、専門店知り合いにバッタリ会って「え!? 君も?」ということが多いです。隠れアクアリストからの連絡をお待ちしております。情報交換&物々交換しましょう。

さて今回は、原子燃料分析有限責任事業組合の米田 翔さん、よろしくお願ひします!



スキー

日本原燃品質保証課 小島 伸一

こんにちは、日本原燃品質保証課の小島伸一と申します。私は、少しでもしゅん工にお役に立てればという気持ちで着任しました。しかしながら、着任して半年もたたないうちにスキーで左足を骨折し出端を挫くことになってしまいました。しゅん工だけでなく少しでも良いプラントになるよう、がんばっていきたいと思っておりますので、ご協力の程宜しくお願ひします。ゲレンデでこんなおっさんを見かけたら声を掛けてやってください。今回は、私の部下でホープの齊藤慎也を紹介し



アイスホッケー

日本原燃放射線安全課 藤野 卓

日本原燃放射線安全課の藤野卓です。皆様日頃より、再処理施設等の放射線安全にご協力頂きありがとうございます。さて、ユーティリティー課の工藤副長からの依頼で今回寄稿させていただきますが、私はご当地スポーツであるアイスホッケーについて紹介します。冬は、閉じこもりがちになる人も多いと思いますが、青森（八戸市が中心）のご当地スポーツの1つアイスホッケーで汗を流してはいかがでしょうか?当社にもハスキーズという素人チームがあり、青森県素人アイスホッケーリーグに参戦し、活躍しています（加盟チームは55チーム）。私も社会人アイスホッケーリーグなどに参加し、アイスホッケーの試合・練習に汗を流しています。安心して下さい、前歯はなくなる安全?なスポーツです。また、夏にはスケートをローラーブレードに履きかえるインラインホッケーなるスポーツがあります（こちらは青森市が中心）。こちら熱い暑いスポーツでダイエットにはもってこいです。今回は再処理工場化学処理施設部脱硝課の齋藤雄太さんを紹介し



サイクリング

三菱マテリアルテクノ株式会社 藤原 敦

三菱マテリアルテクノ株式会社の今井さんからバトンを受け継いだ藤原です。今回は私が最近ハマっているサイクリングについて紹介したいと思います。

ハマったきっかけは、新しい自転車を購入したことです。『クロスバイク』と呼ばれるスポーツ自転車を購入したのですが、今までママチャリとマウンテンバイクにしか乗ったことのない私にとっては、その軽快なスピード感にすっかり魅了されてしまいました。

当初は街乗り用として購入したものの、いつのまにか隣の市町村にまでサイクリングをするようになっていました。気付けば自転車用品が日に日に増えて行って大変なことになってきました。今後は自転車を自分好みにカスタマイズしながら、各地の景勝地を自転車で回ってみたいと思っています。

次はテニスの上手な美和電気工業(株)若松さんにバトンタッチしたいと思います。



米軍三沢基地
 青森県内にある他国アメリカ。年1回の航空祭は圧巻ですね！



中六角 浩光



浅虫海釣り公園
 運が良ければ良型のクロダイも釣れます。



猪狩 昌徳



ホタテ
 いろんな料理に使える！



杉山 真澄美



日曜朝市
 八戸の館鼻岸壁で、開催される海の幸・山の幸の宝の宝庫です。



丹野 泰寛



馬肉料理
 県南地方の郷土料理で、栄養価が高く、疲労回復に最適です。



川村 正宏



晴天の霹靂
 青森県の特Aブランド米として、これからの期待したい。



本柳 定夫



「青森といえど...」 さいくる de Talk 日立GE

奥入瀬
 奥入瀬渓流のきれいな水の流れと白布ノ滝。



桑原 重信



岩木山
 通称「津軽富士」と呼ばれています。岩木山南東麓にある岩木山神社はパワースポットで有名な場所です。



伊東 政広



十和田湖
 一年を通していろんな風景を見せられる十和田湖。



我満 利幸



りんご、ねぶた祭り
 出張で初めて青森県を訪れ「ねぶた」と「ねぶた」があることを知りました。



横田 平信



言葉
 布団は「掛ける」ものですが、「着る」といいます。



玉内 領



竜飛岬
 売店の干しタコ！絶品ですよ。



目時 知子



弘前公園・弘前城
 弘前城は歩けば歩くほど満開の桜が絶景を見せられます。



久保 由貴



再処理企業協議会 ホームページのご案内

再処理企業協議会では、ホームページを公開しております。当ホームページでは、設立趣意書、かわら版や会報等を紹介しております。また、会員限定のページもあり、入所時教育の申込やお知らせなど多くの情報を確認できます。当協議会では、ホームページの改善やコンテンツの充実に努めてまいりますので、是非当ホームページを奮ってご活用ください。

また、再処理企業協議会では、協力会社の皆様のご意見、ご要望を受付しております。以下にて、ご連絡ください。なお、相談者のプライバシーにつきましては厳重に保護されますのでご安心ください。

●ホームページアドレス

<https://www.saisyori-kigyoukyogikai.jp/>

●電話・FAX

0175-71-2487 平日 10時～16時

0175-71-2488

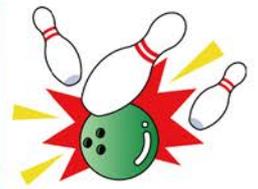


行事のお知らせ

【7月】かわら版15号発行

【9月】かわら版16号発行 エネパーク見学会

【10月】ボーリング大会



事務局長あいさつ

いつも再処理企業協議会活動にご支援とご協力をお寄せいただき感謝しております。早いもので今年度も端午の節句、梅雨の長雨と季節が移り、暑い夏本番を迎えようとしています。夏と言えば冷たいビールと枝豆、ねぶた祭りなど楽しいイベントもたくさんあり、今から楽しみです。一方、近年の夏は暑さが厳しく日射病や熱中症に十分な注意が必要です。

再処理企業協議会のポータルサイトにも暑さ指数(WBG T・湿球黒球温度)が毎日掲載されています。ご存知と思いますが暑さ指数とは、環境省が熱中症の危険度を判断する数値として、人間の熱バランスに影響の大きい温度、湿度(湿球温度計)、輻射熱(黒球温度計)の3つを取り入れた温度の指標です。3つの効果を1・7・2の比で表しています。湿度の影響が最も大きいのですね。その暑さ指数が28℃以上となると熱中症にかかる人が急増するようになります。なお、暑さ指数は代表的な数値です。作業前、各作業環境の暑さ指数を確認してやるべきことが大事だと思います。一般的な熱中症予防策としては、屋外では帽子着用し、日陰を利用する。こまめに休息、水分補給などを行い、もし手足がしびれる、めまい・立ちくらみ、気分が悪い、ぼーっとするなどの症状がでたら涼しい場所へ避難し、水分・塩分補給や服をゆるめて、濡れタオルをあてたりする。その際、額や顔だけでなく脇の下や首すじ、足の付根など冷やすと効果的だそうです。でも重症の場合はすぐに救急車を呼ぶ必要があります。熱中症対策を十分行なって、お互い声を掛け合ってください。暑い夏を元気に乗り切ってください。最後に「明るく、楽しく、元気よく、そしてご安全に」、今後とも再処理企業協議会の各種活動への積極的な参加をよろしくお願い致します。

二〇一五年六月末日

再処理企業協議会

事務局長 北上 孝寿



編集担当者より

神戸 製鋼所の門脇です。今年も例年よりも暑いとの予想ですが、暑さに負けず広報部会活動へ貢献できるように取り組んでいきたいと思っております。



クリハランの渋谷です。広報部会での活動は2年目となり、今年はホップ(?)、今年はステップの年にしたいと思っております。(ジャンプはいつのことかわかりませんが)暑さに負けず、やたら人なつっこい当地のハエにも負けず、頑張りたいと思っております。



日本建設工業の渡部です。夏の暑さにも負けず、物忘れにも耐えて、広報部会の活動に取り組んでいきたいと思っております。

